

日付	時限	内 容
4月3日	2	「検証と医学」概論

G I O : 医学・医療と法律に関係する各種社会病理現象について理解し、医師としての適切な判断力を身につける。

- SB0 :
1. 医学の分野における法医学の位置付けを説明できる。
 2. 法医学の対象とその役割について説明できる。

4月3日	3	早期・晩期死体现象
------	---	-----------

G I O : 早期および晩期の各種死体现象とその原理を理解し、死亡時刻推定の判断力を身につける。

- SB0 :
1. 早期死体现象を列举し、各々の原理について説明できる。
 2. 晩期死体现象を列举し、各々の原理について説明できる。
 3. 各種死体现象を個別死体の死亡時刻推定に応用できる。

4月10日	2	損傷総論
-------	---	------

G I O : 人体に生じた各種損傷を診察・鑑定する上で必要な基礎知識を理解する。

- SB0 :
1. 各種損傷所見をカルテ等に表現する場合の具体的表現法を述べることができる。
 2. 生活反応の意義、局所性・全身性生活反応について例を挙げて説明できる。
 3. 自為損傷・他為損傷の相違点について例を挙げて説明できる。

4月10日	3	鈍器損傷
-------	---	------

G I O : 鈍器損傷の性状を理解し、成傷器具（凶器）推定の判断力を身につける。

- SB0 :
1. 開放性損傷（創）と非開放性損傷（傷）の相違点を説明できる。
 2. 挫創・裂創・挫裂創の所見および成傷機序の相違点を説明できる。
 3. 皮下出血・表皮剥脱・圧迫痕の所見および成傷機序について説明できる。

4月17日	2	鋭器損傷
-------	---	------

G I O : 鋭器損傷の性状を理解し、成傷器具（凶器）推定の判断力を身につける。

- SB0 :
1. 鋭器の種類を挙げ、その特徴・相違点について説明できる。
 2. 刺創・切創・割創の所見および成傷機序の相違点を説明できる。

4月17日	3	銃器損傷
-------	---	------

G I O : 銃器損傷の性状を理解し、銃創を診察・鑑定する上での基礎知識を身につける。

- SB0 :
1. 主に拳銃・散弾銃の構造および本邦における銃器事件の概要について説明できる。
 2. 射入口・射出口の所見を挙げ、これらを鑑別することができる。
 3. 射入口およびその周囲の所見をもとに、使用された拳銃の口径や射撃距離を推定できる。

4月24日	2	頭部損傷
-------	---	------

G I O : 頭部損傷の特徴的所見を理解し、診察・鑑定する上での基礎知識を身につける。

- SB0 :
1. 頭蓋内損傷による死のメカニズムについて説明できる。
 2. 脳挫傷の成傷機序について説明できる。
 3. 各種外傷性頭蓋内出血の成傷機序と診断上の留意点について説明できる。

4月24日	3	交通事故損傷
-------	---	--------

G I O : 特徴的な交通事故損傷の成傷機序を学び、診察・鑑定における基礎知識を身につけるとともに交通事故に関する法的問題を知解する。

- SB0 :
1. 交通事故を成傷機序から分類し、それぞれの損傷所見の特徴を説明できる。
 2. 交通事故損傷の身体所見から成傷機序を推定できる。
 3. 危険運転致死傷などの交通事故の処罰に関する法律を説明できる。

5月8日	2	異常環境による障害
------	---	-----------

G I O : 異常環境下での身体障害の発生機序と死に至るメカニズムおよび特徴的な身体所見を理解し、診察・鑑定における基礎知識を身につける。

- SB0 :
1. 低体温・高体温による障害および特徴的な剖検所見を説明できる。
 2. 火災による死亡のメカニズムを理解するとともに、身体所見から生前の受傷か死後の燃焼かを鑑別できる。
 3. 電気・気圧・放射線などによる障害の特徴と身体所見を説明できる。

5月8日	3	大規模災害
------	---	-------

G I O : 大規模災害の分類及び具体的事例を理解し、災害救急医療を行う際の基本知識を身につける。

- SB0 :
1. 大規模災害の分類について説明できる。
 2. 代表的な大規模災害事例の概要・特徴を挙げて説明できる。
 3. 大規模災害の被災者に対する医師の対応を説明できる。

5月15日	2	自殺
-------	---	----

G I O : 自殺の定義・種類・特徴を把握するとともに、本邦における自殺予防対策の現状を理解する。

- SB0 :
1. 自殺の定義および分類を説明できる。
 2. 本邦における自殺者の疫学的特徴を説明できる。
 3. 本邦における自殺予防対策について説明できる。

5月15日	3	窒息総論
-------	---	------

G I O : 窒息の定義と分類、病態生理を理解する。

- SB0 :
1. 窒息の定義および内窒息・外窒息の違いを説明できる。
 2. 窒息の発生から死に至る病態生理を時系列で説明できる。
 3. 外窒息の分類につき具体例を挙げて説明できる。

5月22日	2	窒息各論 I
-------	---	--------

G I O : 頸部圧迫による窒息の種類、病態生理、身体所見の特徴を理解し、診察・鑑定における基礎知識を身につける。

- SB0 :
1. 頸部圧迫による窒息死のメカニズムについて説明できる。
 2. 頸部圧迫の種類（縊死、絞死、扼死）を理解し、それぞれの特徴的所見を説明できる。
 3. 身体所見から頸部圧迫の種類や成傷器の推定、自他為の別を鑑別できる。

5月22日	3	窒息各論 II
-------	---	---------

G I O : その他の窒息について発生状況および特徴的な身体所見を理解し、診察・鑑定における基礎知識を身につける。

- SB0 :
1. 気道閉鎖・気道内異物による窒息の発生機序と特徴的所見について説明できる。
 2. 溺水吸引による窒息死（溺死）の特徴および生前溺水と死後水中遺棄の鑑別法を説明できる。
 3. その他の窒息（胸郭の圧迫、酸素欠乏等）の発生機序と特徴的所見について説明できる。
 4. 乳幼児の窒息事故の発生状況を説明できる。
 5. 乳幼児突然死症候群（SIDS）の定義と疫学的特徴について説明できる。

5月29日	2	家庭内虐待
-------	---	-------

G I O : 高齢者虐待と配偶者等への暴力（DV）に関する基礎知識を学び、これらを適正に判断する能力を身につける。

- SB0 :
1. 高齢者虐待に関する法律とその現状を説明できる。
 2. ドメスティックバイオレンスに関する法律とその現状を説明できる。

5月29日	3	児童虐待
-------	---	------

G I O : 児童虐待の現状と被虐待児の身体所見を学び、虐待を適正に判断する能力を身につける。

- SB0 :
1. 虐待の分類を列举し、各々の概要について説明できる。
 2. 身体的虐待における特徴的所見について説明できる。
 3. 本学における虐待防止委員会の活動について説明できる。

6月5日	2	臓器移植と法 I
------	---	----------

G I O : 我が国の臓器移植医療の現状を理解し、将来必要な判断力を身につける。

- SB0 :
1. 我が国の臓器移植医療の歴史、問題点について説明できる。
 2. 脳死臓器移植およびガイドラインの概略について説明できる。
 3. 改正臓器移植法の要点について説明できる。
 4. 我が国の臓器（組織）移植医療の実際について説明できる。

6月5日	3	臓器移植と法 II
------	---	-----------

G I O : 我が国の臓器移植医療の現状を理解し、将来必要な判断力を身につける。

- SB0 :
1. 我が国の臓器移植医療の歴史、問題点について説明できる。
 2. 脳死臓器移植およびガイドラインの概略について説明できる。
 3. 改正臓器移植法の要点について説明できる。
 4. 我が国の臓器（組織）移植医療の実際について説明できる。

6月12日	2	医療関連死 I
-------	---	---------

G I O : 身近で発生した医療事故・過誤の実例をとおり、医療現場の現状と院内対策について学ぶ。

- SB0 :
1. 本邦ならびに当院における医療関連死の現状について説明できる。
 2. 医療事故防止のため院内で行われている各種対策について列挙できる。
 3. 医療事故・過誤の発生要因を指摘し、改善策を検討することができる。

6月12日	3	医療関連死 II
-------	---	----------

G I O : 異状死体として警察に届け出すべき医療関連死とはどのような事例かを学ぶ。

- SB0 :
1. 異状死ガイドラインにおける「診療行為中の予期せぬ死亡」とはいかなるものか説明できる。

6月19日	2	個人識別総論
-------	---	--------

G I O : 個人識別の重要性及び識別法の特徴について理解する。

- SB0 :
1. 個人識別の意義と重要性を説明できる。
 2. 各種生体認証法の概要について説明できる。
 3. DNA多型の特徴について説明できる。
 4. 指紋の識別法について説明できる。
 5. 硬組織（骨、歯、爪、毛髪等）検査法について説明できる。

6月19日	3	血縁関係の証明
-------	---	---------

G I O : DNA型による血縁関係の証明法を理解する。

- SB0 :
1. 血縁関係の証明がどのような場合に必要とされるかを説明できる。
 2. DNA多型の遺伝様式の特徴について説明できる。
 3. DNA多型を用いて各種血縁関係が説明できる。

6月26日	2	DNA鑑定 I
-------	---	---------

G I O : DNA型を利用した実際例を通して法医学的鑑定を理解する。

- SB0 :
1. 性別判定に利用するアメロゲニン遺伝子の特徴を説明できる。
 2. DNAを用いた親子鑑定方法を説明できる。
 3. ミトコンドリアDNAを用いた親子鑑定について説明できる。

6月26日	3	DNA鑑定 II
-------	---	----------

G I O : DNA型を利用した実際例を通して法医学的鑑定を理解する。

- SB0 :
1. 鑑定上の注意点、問題点を具体的に説明できる。

7月3日	2	硬組織による個人識別Ⅰ
------	---	-------------

G I O : 白骨の個人識別法について理解する。

- SB0 :
1. 白骨の鑑定順序について説明できる。
 2. 性別判定に利用する部位と各々の特徴を説明できる。
 3. 年齢推定の方法を説明できる。
 4. 身長推定の方法を説明できる。

7月3日	3	硬組織による個人識別Ⅱ
------	---	-------------

G I O : 歯牙による個人識別の方法を理解する。

- SB0 :
1. デンタルチャートをみて部位を特定できる。
 2. 歯牙の萌出順序と年齢の関係を説明できる。
 3. スーパーインポーズ法を説明できる。
 4. 歯牙の退行性変化を説明できる。

7月10日	2	胎・嬰兒の法医学
-------	---	----------

G I O : 胎児・嬰兒死の概要を理解し、診察・鑑定する上での判断力を身につける。

- SB0 :
1. 胎児・嬰兒の身体特徴からその成熟度を推定できる。
 2. 生産および死産の概念について説明できる。
 3. 嬰兒の死体所見をもとに生産・死産の別を鑑別できる。
 4. 出生後死亡までの経過時間の推定法について説明できる。

7月10日	3	前期まとめ
-------	---	-------

G I O : 検証と医学コース（前期）の統括的理解を深める。

- SB0 :
1. 本コース（前期）の学習内容を再確認し、知識の不足分を補う。

9月11日	3	中毒総論
-------	---	------

G I O : 中毒（死）の概要を理解する。

- SB0 :
1. 中毒の定義および分類を理解できる。
 2. 中毒例の症状および死体所見を説明できる。
 3. 中毒例における薬毒物分析の概要を説明できる。

9月18日	3	中毒各論Ⅰ
-------	---	-------

G I O : 中毒（死）をきたす各種薬毒物の毒性・症状・検査法を理解する。

- SB0 :
1. 主な有毒ガス中毒について説明できる。
 2. 主な医薬品中毒について説明できる。
 3. 主な農薬中毒について説明できる。
 4. 主な自然毒による中毒について説明できる。
 5. アルコール中毒について説明できる。

9月25日	3	中毒各論Ⅱ
-------	---	-------

G I O : 薬物乱用の現状と本邦の法規制について理解する。

- SB0 :
1. 薬物乱用・薬物依存・慢性中毒について説明できる。
 2. 主な乱用薬物の作用機序・症状・依存性について説明できる。
 3. 乱用薬物を規制する法規（薬物四法・医機法・毒劇法）を理解する。
 4. 乱用薬物に関する医師の義務および規制事項について説明できる。

10月2日	3	物体検査
-------	---	------

G I O : ヒト由来の各種試料に対する法医学的検査について理解する。

- SB0 :
1. 法医学的試料の取り扱いについての注意点を説明できる。
 2. 血痕検査法（予・本試験、人血試験、DNA多型試験等）について説明できる。
 3. 体液（精液、唾液、尿等）検査法について説明できる。
 4. 指紋の顕出法について説明できる。

10月9日	3	血液型
-------	---	-----

G I O : 代表的な血液型の遺伝様式、性状及び検査法について理解する。

- SB0 :
1. AB0式血液型の特徴と遺伝様式及びその亜型について説明できる。
 2. Rh式血液型の特徴と遺伝様式及びその亜型について説明できる。
 3. 血液型検査法について説明できる。
 4. 交差適合試験法の目的と原理について説明できる。

10月16日	3	死因論
--------	---	-----

G I O : 死因判定の基礎知識に加え、内因・外因が複合した症例での死因判断能力を身につける。

- SB0 :
1. 内因死・外因死の概念について説明できる。
 2. 原死因・直接死因および死因の種類の概念について説明できる。
 3. 内因・外因の複合例における死因の判断について説明できる。
 4. 死因論の競合理論を列挙し、各々の例について具体的に述べることができる。

10月23日	3	医事法規Ⅰ（医師法）
--------	---	------------

G I O : 医学生および医師に課せられた医師法の理念を理解する。

- SB0 :
1. 医師に求められるものが何か、その責任の重要性を理解する。
 2. 医師免許取得の条件を理解し、医学生に必要な姿勢を身につける。
 3. 医師免許取消等の処分事例を通し、医師が守るべき品位を理解する。
 4. 医師法第19条（応召義務）、同20条（無診察治療等の禁止）、医師法第21条の主旨を説明でき、各場面での適切な対応法を選択できる。

10月30日	3	医事法規Ⅱ（刑法・刑事訴訟・死体解剖保存法）
--------	---	------------------------

G I O： 医業に関連した種々法律の主旨を理解し、臨床および死体取扱い上の適切な判断力を身につける。

- SB0：
1. 死体解剖保存法第7条・同8条・同11条の主旨を説明できる。
 2. 死因究明制度における監察医制度の必要性和問題点を列挙できる。
 3. 刑事訴訟法第134条（守秘義務）、虚偽記載罪（刑法第161条）等の主旨を説明でき、各場面での適切な対応法を選択できる。
 4. 医師国家試験出題レベルの医事法規関連問題を正解する力を備える。

11月6日	3	死因究明制度Ⅰ
-------	---	---------

G I O： 我が国の死因究明制度とその問題点を理解した上で、臨床医として異状死体を適正に処理する能力を身につける。

- SB0：
1. 警察による検視（行政・司法）について説明できる。
 2. 死体検案、法医解剖（司法・行政・承諾）について説明できる。
 3. 異状死体の死因究明に関する一連の流れを説明できる。
 4. 異状死ガイドラインの主旨を説明できる。
 5. 我が国の死因究明制度の問題点を説明できる。

11月13日	3	死因究明制度Ⅱ
--------	---	---------

G I O： 異状死の定義を理解し、非異状死と分別する能力を身につける。

- SB0：
1. 異状死体の概要を説明できる。
 2. 異状死体か否かを適正に判断できる。
 3. 異状死ガイドラインの項目を列挙し、その概要を説明できる。

11月20日	3	死因究明制度Ⅲ
--------	---	---------

G I O： 死亡診断書・死体検案書の相違点を理解する。

- SB0：
1. 死亡診断と死体検案の相違点を説明できる。
 2. 死因究明制度の流れを理解し、説明できる。
 3. 死亡診断書と死体検案書の区分を理解し、適切な書類形式を選択できる。

11月27日	3	死因究明制度Ⅳ
--------	---	---------

G I O： 我が国の死因究明制度とその問題点を理解し、適切な死体検案能力を身につける。

- SB0：
1. 死因究明制度の概略とその問題点を説明できる。
 2. 医療事故調査制度の成り立ちとその概略を説明できる。

12月4日	3	死亡診断書・死体検案書の書き方
-------	---	-----------------

G I O： 死亡診断書・死体検案書の記載方法を理解する。

- SB0：
1. 死亡診断書と死体検案書の区分を理解し、適切な書類形式を選択できる。
 2. 死亡診断書・死体検案書の記載ルールに則り、正確な書類を作成できる。

12月11日	3	後期まとめ
--------	---	-------

G I O： 検証と医学コース（後期）の総合的理解を深める。

- SB0：
1. 本コース（後期）学習内容の再確認、および不足分の補修を通して、法医学に対する総合的理解を深める。

